報道関係各位　　2026年11月24日

車両火災用ノズル「アクアサイクロン™」が「消防防災科学技術賞　優秀賞」を受賞
～モリタが提案する「EV 消火ソリューション」～

株式会社モリタホールディングス

株式会社モリタホールディングス（本社：大阪府、代表取締役：加藤　雅義）が開発した車両火災用ノズル「アクアサイクロン™」が、総務省消防庁が主催する「令和8年度　消防防災科学技術賞」の「一般の部／消防防災機器の開発・改良」の区分で、優秀賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

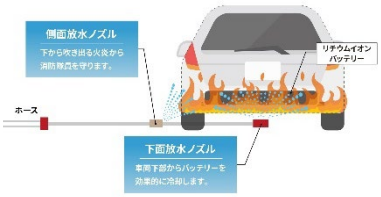


表彰式の様子


「アクアサイクロン™」使用イメージ



「アクアサイクロン™」



放水イメージ


下面放水ノズル

近年、電気自動車（EV）の普及に伴い、搭載されるリチウムイオンバッテリー（LIB）に起因する火災への対応が社会的な課題となっています。LIBは、熱暴走に伴う再燃リスクがあり、消火活動では継続的な冷却措置が重要となります。しかしながら、LIBは一般的に車両下部に設置されているため、従来の放水方法では水が十分に熱源へ届きにくく、効果的な冷却が困難という課題があります。
この度受賞した「アクアサイクロン™」は、こうした課題に対応するために開発された技術（製品）です。アクアサイクロンを車体下部へ差し込み、ノズルの回転運動を利用して広範囲に放水することで、LIBを効率的に冷却できます。当社グループは、本技術を基軸として、EV火災への対応を包括的に支援する「EV消火ソリューション」を提案しております。
今後も、「『安心』を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る」というパーパスのもと、先進の技術力で世界に変わらない「安心」をお届けし、持続可能な未来の創造に挑戦し続けてまいります。

アクアサイクロン　製品ページ
https://www.morita119.jp/related/cargo/aqua-c/index.html

■ モリタが提案する「EV 消火ソリューション」
「アクアサイクロン™」と他製品を組み合わせた、EV火災の効果的な消火方法をご提案いたします。



STEP1：消防ポンプ自動車 「Miracle CAFS Car」
少量の泡薬剤を水と混合し、空気を圧入（発泡）させて消火する消防車です。泡によって水の表面張力を低下させ、燃焼物への浸透性を高めることで、効率的に火勢を抑制します。
水だけでも火勢抑制は可能ですが、Miracle CAFS Carによる泡放射はより効果的です。





STEP2：車両火災用ノズル「アクアサイクロン™」
通常の放水に加え、アクアサイクロンを用いて車両下部から放水することで、効果的に消火活動が行えます。



STEP3：車両火災用ブランケット「FIRE ISOLATOR」

FIRE　ISOLATORで車両を丸ごと覆い、周辺への延焼を抑制します。また、ガスを完全に遮断しない構造により、ブランケット内部での危険なガス溜まりを防止し、作業時の安全性を高めます。



STEP4：簡易型止水板「Flood Guard」

簡易型止水板 Flood Guard を応用して車両を移動することなく簡易プールを作り、車両下部のバッテリーを水に浸すことでLIBを失活させ、再燃リスクを抑えます。



＊消防防災科学技術賞とは

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰するものです。

本件に関するお問合せ先
株式会社モリタホールディングス　グループ戦略本部　経営企画室　広報課　担当：三木
TEL:03-6400-3485